

平成 27 年 6 月 30 日

京 都 府

## 地域の力が結集「海の京都博」開催

～さあ、知と遊の冒険へ～

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

【京都財務事務所】

「海の京都博」公式ホームページ <http://www.uminokyotohaku.jp/>

### 1. 「海の京都博」について

#### 1) 概要

日本海に面する京都府北部地域は、古代より大陸との交流玄関口として栄えた地域であり、「古事記」に登場する伊邪那岐（いざなぎ）、伊邪那美（いざなみ）二柱の神が降り立った「天浮橋（あめのうきはし）」は、現在の宮津市「天橋立」であると伝えられるなど、多くの神話が残り、繊維や食の産地として人々の生活を支えた、いわば「京都（みやこ）」のふるさとです。京都府北部の7市町では、こうした伝説や歴史を背景に「海」という統一テーマのもと、「海」の魅力と「京都」ブランドを活かし、一体となった観光地域づくりが進められてきました。

そうしたなか、平成27年7月に京都縦貫自動車道が全線開通します。この機会を捉まえ、7市町では、それぞれの特色を活かした「コアイベント」を期間中切れ目なく開催するほか、各地域の歴史や文化等独自性を体感できる「コンセプトツアー」を催行するなど、多彩なコンテンツを集め、「また来たい」と思える感動と喜びを生み出すべく「海の京都博」が開催されます。

#### 2) メインイベント「ウォータープロジェクションショー」

日 時：平成27年7月19日（日）、18：50～を予定

※荒天の場合は7月20日に順延

会 場：京丹後市 夕日ヶ浦・浜詰海水浴場特設会場

問合せ先：075-414-4843（京都府観光振興課）

「丹後国風土記」に記された羽衣天女伝説をモチーフに、「羽衣伝説 新話 ～転生離合～」と題し、夕日が美しいことで知られる京丹後市夕日ヶ浦を舞台に、夕日と壮大な噴水とのコラボレーションや伝統芸が披露されます。クライマックスでは、日本最大のウォータースクリーン（水の膜）に映像を浮かべ、周囲を光と噴水で彩る一大スペクタクルショーが実施されます。



## 2. 各自治体のイベント概要等

### 1) 福知山市：福知山城エリア

#### 【拠点コアイベント：福知山スイーツフェスティバル】

開催期間：平成 27 年 9 月中旬～10 月中旬

福知山市は、戦国武将の明智光秀が西国攻略の拠点として築いた福知山城の城下町として栄え発展してきました。逆臣のイメージのある光秀ですが、税の免除や由良川の治水対策に尽力するなど善政を施したことから、良君として今でも市民から慕われています。また、丹波栗や丹波黒豆など地元の食材を使用したスイーツがたくさんあり、市内には多くのスイーツ店が点在しています。福知山市では、「お城とスイーツのまち福知山」をテーマにしてスイーツに関連したイベントが開催されます。



福知山城

#### ○主なイベント内容

- ・市内外のスイーツ店が一同に会する販売イベント「丹波福知山スイーツフェスティバル」が開催されます。
- ・フェスティバルの前後には「高校生カフェ」、「千人お茶会」など市民参加イベントが開催されます。

#### 【コンセプトツアー：～福を感じる～「ドッコイセ」が智慧をうみだす福のまち】

開催期間：平成 27 年 7 月 18 日(土)～11 月 15 日(日)の間、毎週土、日曜日

(8 月 15 日、8 月 16 日、8 月 22 日、9 月 19 日、9 月 20 日、9 月 27 日、10 月 10 日、10 月 24 日、10 月 25 日を除く)

問合せ先：0773-22-2228 (福知山観光協会)

福知山城や明智光秀が祀られている御霊神社など光秀ゆかりの場所やスイーツ店などを巡るまち歩きにより、「お城とスイーツのまち福知山」を堪能できるツアーが実施されます。

### 2) 舞鶴市：舞鶴赤れんがパークエリア

#### 【拠点コアイベント：まいづるまち博】

開催期間：平成 27 年 7 月 18 日(土)～9 月 27 日(日)主に土・日・祝日

舞鶴市には、東郷平八郎を初代司令長官とする旧日本海軍舞鶴鎮守府の開庁(明治 34 年)に伴い、旧海軍が建設した赤れんが造りの倉庫群が現存しています。風雪を経た赤れんがはエキゾチックな雰囲気を醸し出し、倉庫群の一部は、「舞鶴赤れんがパーク」として、国内外観光客の人気を博しており、舞鶴市では、この「舞鶴赤れんがパーク」を拠点に、集客した観光客をまち全体に拡大することを目的

に、まち歩き・まち体験ツアーや各種イベントが実施されます。

### ○主なイベント内容

- ・まち遊び（まち歩き＋まち体験）

「舞鶴赤れんがパーク」から自衛隊施設、旧海軍官舎を巡るツアーや東郷平八郎ゆかりの肉じゃが手作り体験など。

- ・舞鶴赤れんがパーク～伊根間の遊覧船を運航

伊根町と連携し遊覧船を運航。心地よい潮風に吹かれながら 70 分の遊覧を楽しめます。



舞鶴赤れんがパーク

- ・戦後 70 周年「旧海軍のまち」を考えるシンポジウム

海軍の町としての歴史遺産を活かした地域づくりを考えることにより、地域の良さを再認識。赤れんがパーク 2 号棟で基調講演やパネルディスカッションを予定。なお、舞鶴市では、引き揚げに関する史実を語り継ぎ、平和の尊さを一人でも多くの人に発信する役割を果たすため、引き揚げやシベリア抑留に関する貴重な資料となる舞鶴市所蔵の「舞鶴引揚記念館所蔵資料」を、ユネスコ世界記憶遺産に登録申請中です。

### 【コンセプトツアー：まいづる海物語】

**開催期間：平成 27 年 7 月～10 月の第 2、4 日曜日**

**問合せ先：0773-77-5400（合同会社まいづる広域観光公社）**

四方を海に囲まれた港町、軍港のまちとして様々な歴史をつむいできた舞鶴。ツアーでは特別公開の東郷邸の見学を含め、海軍ゆかりの地を巡り、明治時代のハイカラさを感じながら海のまち歩きを楽しめます。

### 3) 綾部市：綾部まちなかエリア

#### 【拠点コアイベント：綾のまちめぐりフェス】

**開催期間：平成 27 年 10 月 17 日(土)～11 月 15 日(日)の土・日・祝日**

古くは、すぐれた織物の技術を持つ漢部（あやべ）氏一族が支配したことから地名の由来となったと言われる綾部市。その後も日本が誇る世界的メーカー、グンゼが創業するなど、繊維産業の発展とともに栄えてきました。また、明治 25 年に開教した宗教法人大本は、広大な神苑内に国の登録有形文化財に指定された神殿をはじめ多くの貴重な建築物を有し、慈愛の精神を伝える教えは、古くから民衆宗教として地域に



綾部バラ園

---

慕われてきました。ものづくりと平和のまちを象徴する「グンゼ」、「大本」にスポットをあて、綾部の魅力に触れられるスタンプラリーなどが開催されます。

### ○主なイベント内容

- ・「まちなかスタンプラリー」（プレゼントあり）

「あやべ特産館」、「グンゼ博物苑」、「綾部バラ園」の3施設からなるグンゼスクエアを拠点とし、情趣ある町屋が点在する商店街、厳かな神殿が立つ「大本の神苑」など、綾部のまちなかをまるごと体験できるイベントとなっています。

### 【コンセプトツアー：あやべまちなか みどころツアー】

**開催期間：**平成27年7月20日、9月20日、9月27日、10月18日、10月25日、10月31日、11月7日、11月14日

**問合せ先：**0773-42-2055（プラスツーリスト㈱）

～ゆったり流れる癒しのとき 和でつむぐ綾のまち～

あやべグンゼスクエアや大本、風情豊かな町屋の雰囲気が残る商店を地元のガイドが案内するなど、試食や試飲をしながらまちなかを巡るツアーが実施されます。

## 4) 宮津市：天橋立エリア

### 【拠点コアイベント：海のみやこの物語】

**開催期間：**平成27年7月18日(土)～10月25日(日)

宮津市は、日本三景の天橋立をはじめとする自然豊かな土地で、古くから日本海沿岸の交易の拠点として栄えてきました。平成27年5月には、海の京都のゲートウェイの一つとして、宮津市街地（浜町）に、観光交流センターがオープンしました。宮津市では、浜町を拠点としたクルーズやライトアップの新たな魅力が発見できる旅の楽しみを提案するだけでなく、宮津市自慢の農水産物が味わえる各種イベントが実施されます。



天橋立

### ○主なイベント内容

- ・賑わいイベント「宮津満腹祭」

今年5月にオープンした観光交流センター周辺にて、地元の海・里・山の幸が味わえます。5月2日に開催した際には、宮津市の商工会青年部の実演販売による「へしこチャーハン」などが振る舞われました。

- ・光に浮かぶ天橋立～天橋立まち灯り

天橋立及び文珠・府中地区内のライトアップを実施するとともに、近隣店舗

による協力のもと夜間営業が実施され、夜の宮津湾に浮かび上がる天橋立を堪能しながら、散策が楽しめます。8月8日(土)には、一日限定でライトが増設され、ビューランドから光に浮かぶ天橋立を望むことができます。

・海から始まる天橋立の旅～宮津天橋立周遊クルーズ

宮津天橋立 IC に近い浜町にて車を止め、遊覧船に乗り換えて天橋立までクルーズが楽しめます。特定日には遊覧船が大幅増便され、海の京都博期間中の7月18日から8月30日までの毎週土曜日は、夜のまち歩きを楽しむという、これまでにない新たな旅のスタイルが提案されます。

**【コンセプトツアー：神仏の源流に触れる旅 天につながる太古の聖地を訪ねるプレミアムツアー】**

**開催期間：平成27年7月1日(水)～10月31日(土)**

**問合せ先：0772-22-8030 (天橋立観光協会)**

国生みのいざなぎ、いざなみの通り路と信じられた、往古より多くの人々が訪れた天橋立。当地における神仏の源流である“天とのつながり”を感じることができるプレミアムツアーとなっています。

**5) 京丹後市：久美浜・夕日ヶ浦エリア**

**【拠点コアイベント：－UMI×MACHI－京丹後旅博】**

**開催期間：平成27年7月18日(土)～10月31日(土)**

京丹後市は、美しい地質遺産を含む自然公園である山陰海岸ジオパークの一部であるとともに、日本最古の物づくりの遺跡が残る場所です。海や湾や山が形作る箱庭のような空間。悠久の昔、大陸から先進的な文化や技術がこの地へと伝わり、独自の生活様式を生み出し、伝統産業である丹後ちりめんなどが創造されたのは、「自然」という神が作り出した類まれなこの空間があったからかもしれません。



「かぶと山展望台」からの久美浜湾全景

京丹後市では、久美浜・夕日ヶ浦エリアを拠点に、極上のビーチでの浜遊びや「神の箱庭」を舞台としたまち歩き、各種体験イベントなどが実施されます。

**○主なイベント内容**

・ビーチスポーツフェスティバル in 京丹後 2015

ロングビーチでのビーチバレー公式大会の開催や参加体験イベントとして、ビーチ相撲やビーチフラッグスなどが楽しめます。また、浜辺で食べる京丹後一旨いグルメ決定戦「HAMA－1 グランプリ 2015 in 浜詰」が同時に開催されます。

- ・京丹後市×リアル宝探し「キョータン少年探偵団と竜神の封印石」

宝の地図の暗号を解読し、京丹後市に実際に隠された宝箱を探す、リアル宝探しゲーム。発見した宝箱の数に応じて豪華賞品が当たる抽選に応募できます。旅博期間中に運行している周遊バスや遊覧船に乗ったり、地元グルメを味わったり、宝探しをしながらのまち歩きがおすすめとなっています。

### 【コンセプトツアー：悠久の時間が奏でる神の箱庭】

**開催期間：平成27年7月26日(日)～10月25日(日)の間、毎週日曜日**

※9月21日(月)特別開催

**問合せ先：0772-62-6300（京丹後市観光協会）**

パワースポットである「神谷太刀宮（かみたにたちのみや）」にある巨岩「磐座（いわくら）」に始まり、海に浮かぶまちなみ「日間の架け橋」が見える久美浜湾の遊覧など、自然が造り出した神秘的な空間の中で忙しい日常を離れ、ゆったりと気持ちを解放できるツアーが予定されています。

## 6) 伊根町：伊根浦舟屋群エリア

### 【拠点コアイベント：ウォーターフロント伊根博覧会】

**開催期間：夏博覧会 平成27年7月11日(土)～8月9日(日)**

**秋博覧会 平成27年10月17日(土)、18日(日)（予定）**

伊根町は、日本で一番海に近い町として、1階が船のガレージ、2階が住居となっている「舟屋」が、伊根湾沿いに水際ぎりぎりに約230軒が群として建ち並んでいます。その風景は壮観で全国的にも大変珍しく、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。期間中は、伊根浦舟屋群エリアを拠点に、ゆっくり観光をキーワードとして、各種イベントが開催されます。



伊根の舟屋

### ○主なイベント内容

- ・ウォーターフロントカフェ

舟屋群を眺めながら、ドリンク・フードメニューが楽しめます。

- ・船屋台見送り特別公開

“海の祇園祭”と呼ばれる伊根祭の「船屋台見送り」（「見送り」とは、船屋台背部の豪華な装飾品）が特別公開されます。

※秋博覧会（期間：10月17日、18日）の内容については、各種体験型イベントの開催に向けて、現在調整中となっています。

---

**【コンセプトツアー：海に浮かぶ舟屋の心地よさ】**

**開催期間：平成27年7月18日、8月1日、8月8日、9月5日、9月26日、10月17日、10月18日、11月1日**

**問合せ先：0772-22-8030（天橋立観光協会）**

舟屋のまちなみ散策に始まり、舟屋での「もんどり漁」体験や海上遊覧など、海とともにある暮らしや舟屋での生活といった伊根でしか体感することのできないツアーが準備されています。

**7) 与謝野町：ちりめん街道エリア****【拠点コアイベント：ちりめん街道 ゆるり art なお宝探し】**

**開催期間：平成27年7月18日(土)～11月15日(日)**

与謝野町には、大正期から昭和初期にかけての雰囲気そのまま残した風情あふれるまちなみがあり、丹後ちりめん産業によって賑わった当時の昭和モダンの文化と、現代の文化が調和した、独自のモダン文化・与謝野モダンの空気が流れています。丹後ちりめんを纏（まと）い、ちりめん街道をそぞろ歩けば、当時の機（はた）織りの音が聞こえてくることでしょう。期間中は街道を舞台にしたイベントが実施されます。



旧尾藤家住宅

**○主なイベント内容****・フोटログейニング**

昔ながらの建物が並ぶちりめん街道にてアートを感じるまちなみの中から、お題に沿った写真を撮り、見事正解すれば難易度に応じたポイントを獲得できます。獲得点数に応じて与謝野町観光協会から与謝野町の特産品が当たるプレゼントに応募できます。

**・ちりめん街道まるごとミュージアム**

丹後ちりめん栄えた歴史背景の紹介や、着物の展示がされています。与謝野町の長い歴史の重みと当時の文化を肌で感じ、よりまち歩きを楽しめる内容が準備されています。

**【コンセプトツアー：～心と体の美しい旋律～ うらにしと機神（はたがみ）さまに育まれる縮緬（ちりめん）の郷】**

**開催期間：平成27年7月18日(土)～11月15日(日)**

**問合せ先：0772-43-0155（与謝野町観光協会）**

ちりめん街道の北側の入り口に建つ旧加悦町役場庁舎をスタート地点とし、機場見学や京都府指定文化財である旧尾藤家住宅での昼食、語り部の会によるガイドなど、ちりめん産業がもたらした当時の華やいだ雰囲気を体感できるツアーが

---

準備されています。

### 3. 今後について

「海の京都博」を一過性のもので終わらせないため、民主導を徹底し、各地域において「魅力的な観光」の大きな要素となる「買う」、「食べる」、「遊ぶ」、「ゆっくりと過ごす」などの時間を楽しむ仕掛けを、地域住民自身が内発的に生み出す、持続可能な観光まちづくりが進められています。

こうした地域住民、そして複数の市町にまたがる広域地域が一体となった取組みは、将来に渡る交流人口の拡大とそれに伴う雇用創出、定住促進へ繋がる地域活性化の好循環が期待されます。

京都縦貫自動車道の全線開通により、各段にアクセスが向上した京都府北部地域へ足を伸ばして、美しい四季折々の自然や京都の歴史、地元食材などを堪能してみませんか。

※掲載している情報は、平成27年6月時点のものです。